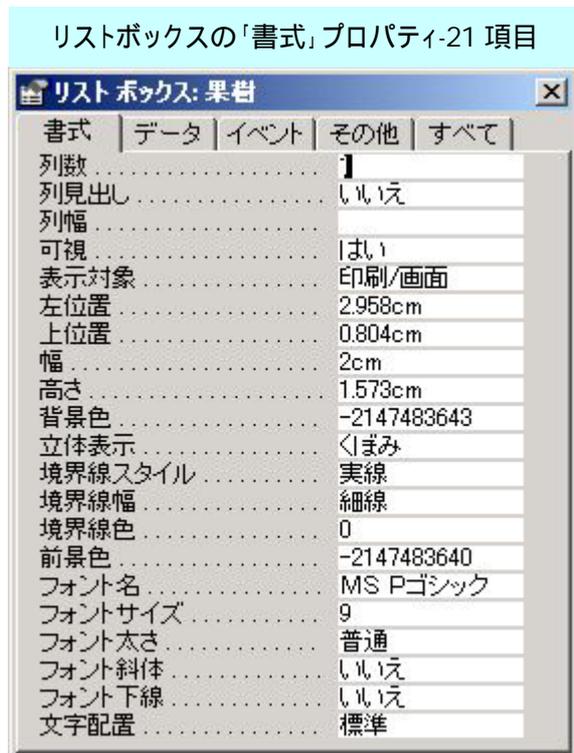


コンボボックスとリストボックスのプロパティ

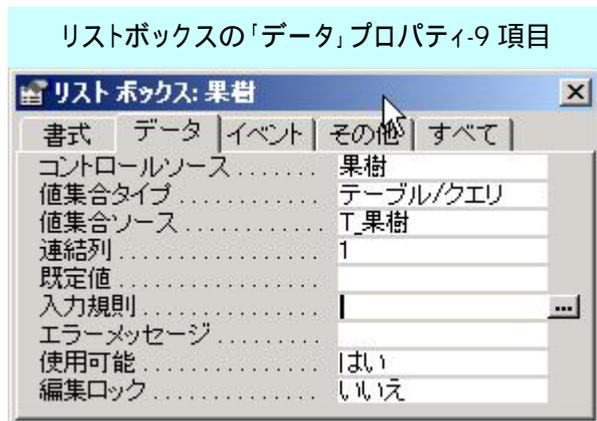
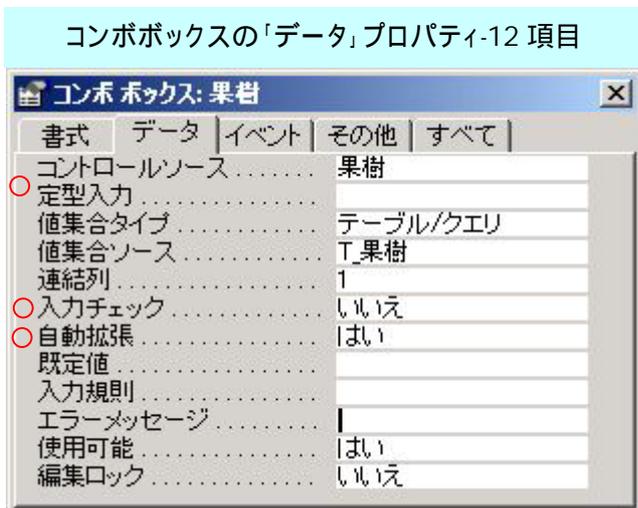
コンボボックス・リストボックスの主なプロパティを調べてみます

それぞれのプロパティ・シートを比較してみます。各プロパティの値は一部ユーザー設定で変更してあります。

「書式」のプロパティ・シート

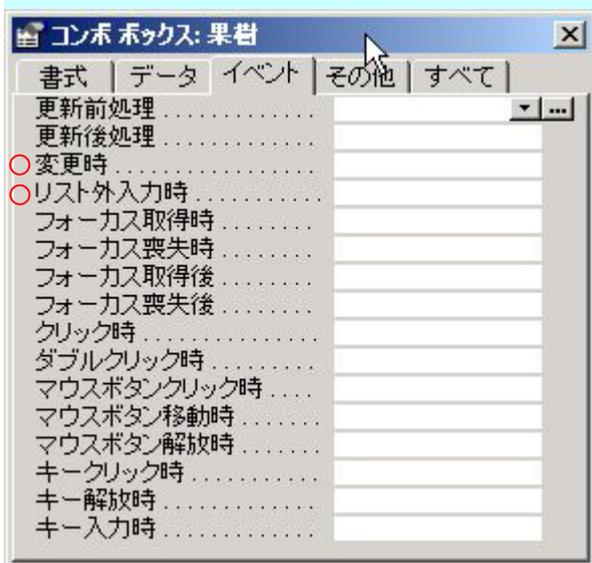


「データ」のプロパティ・シート

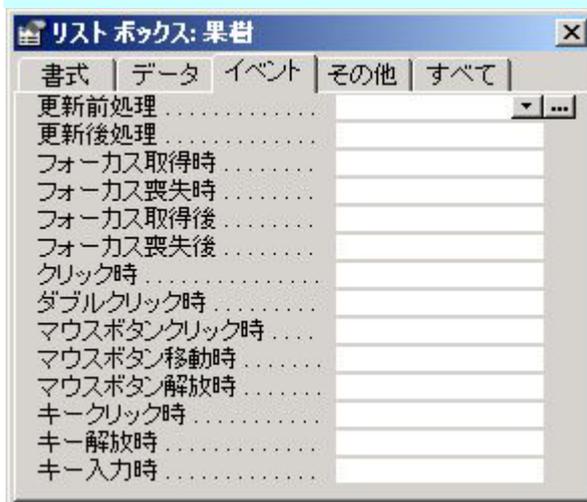


「イベント」のプロパティ・シート

コンボボックスの「イベント」プロパティ-16項目

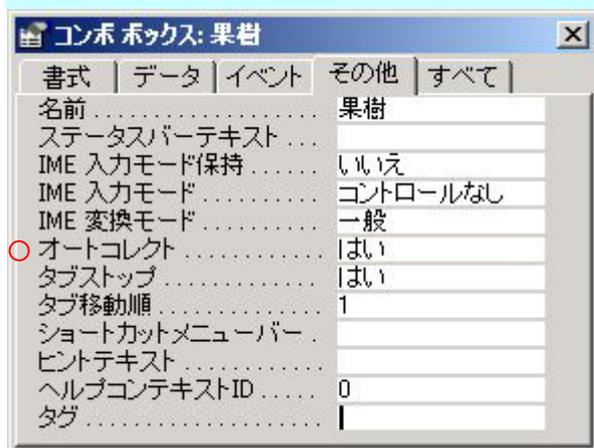


リストボックスの「イベント」プロパティ-14項目



「その他」のプロパティ・シート

コンボボックスの「その他」プロパティ-12項目



リストボックスの「その他」プロパティ-12項目



それぞれのプロパティの違いは、「コンボボックス」と「リストボックス」の機能の違いを示しています。単純な違いは、[コンボボックスとリストボックスの違い](#)を参照してください。

コンボボックス・リストボックスの「列数」

設定値の下限値は 1 です。上限値は、コントロールの「値集合ソース」プロパティに指定されたテーブル、クエリ、または SQL ステートメントのフィールド数(項目数)、または値リストの値の最大数です。

フィールド名	データ型
地区ID	オートナンバー
都道府県	テキスト型

左のテーブルを値集合ソースにコンボボックスを作った場合

顧客 ID: 2
会社名:
地区ID: 6
都道府県: 山形県
市区町村:
レコード: 1 / 2

「地区 ID」で「6」を選択すると、「都道府県」のコントロールボックスへ「山形県」が表示される

書式 | データ | イベント | その他 | すべて

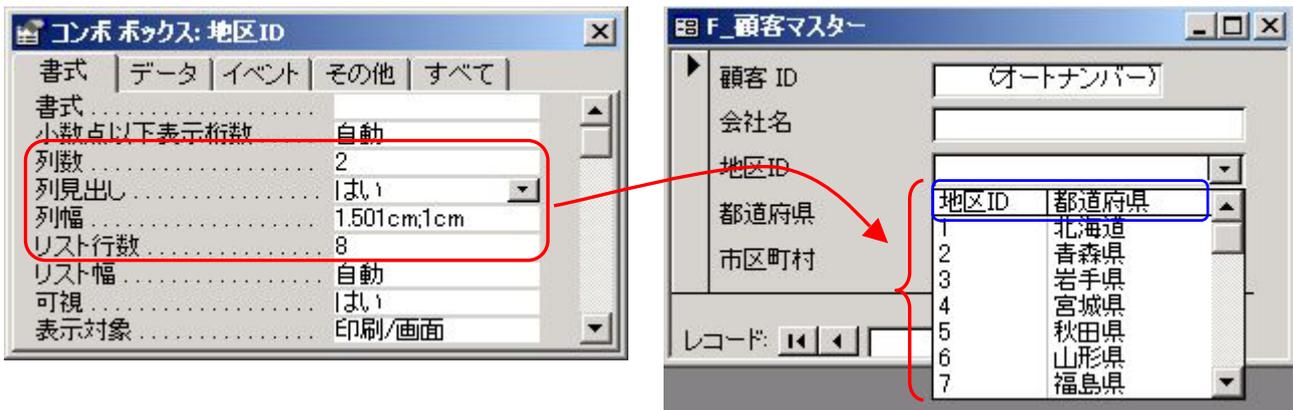
名前: 地区ID
コントロールソース: 地区ID
書式:
小数点以下表示桁数: 自動
定型入力:
値集合タイプ: テーブル/クエリ
値集合ソース: T_都道府県
列数: 2
列見出し: い/え
列幅: 0.501cm;1cm
連結列: 1
リスト行数: 8
リスト幅: 自動
ステータスバーテキスト: ...

列数を「2」と設定したので、テーブルの「地区ID」フィールドと「都道府県」フィールドが表示された。

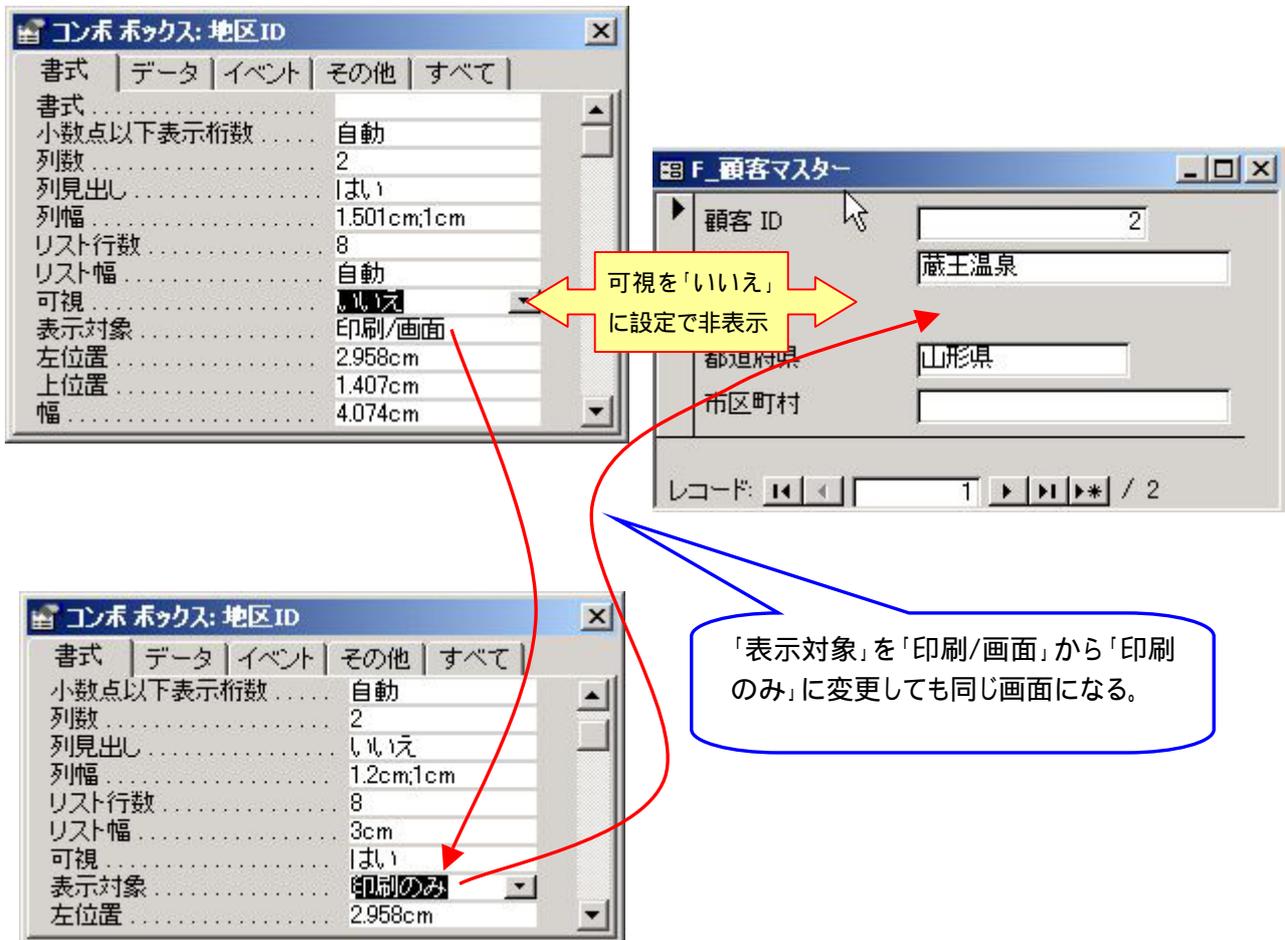
顧客 ID: 2
会社名: 蔵王温泉
地区ID: 6
都道府県: 山形県
市区町村:
レコード: 1 / 2

注意！上記のフォームは 2 つのテーブルをクエリで結合させてあります。操作方法は別紙にて紹介します。

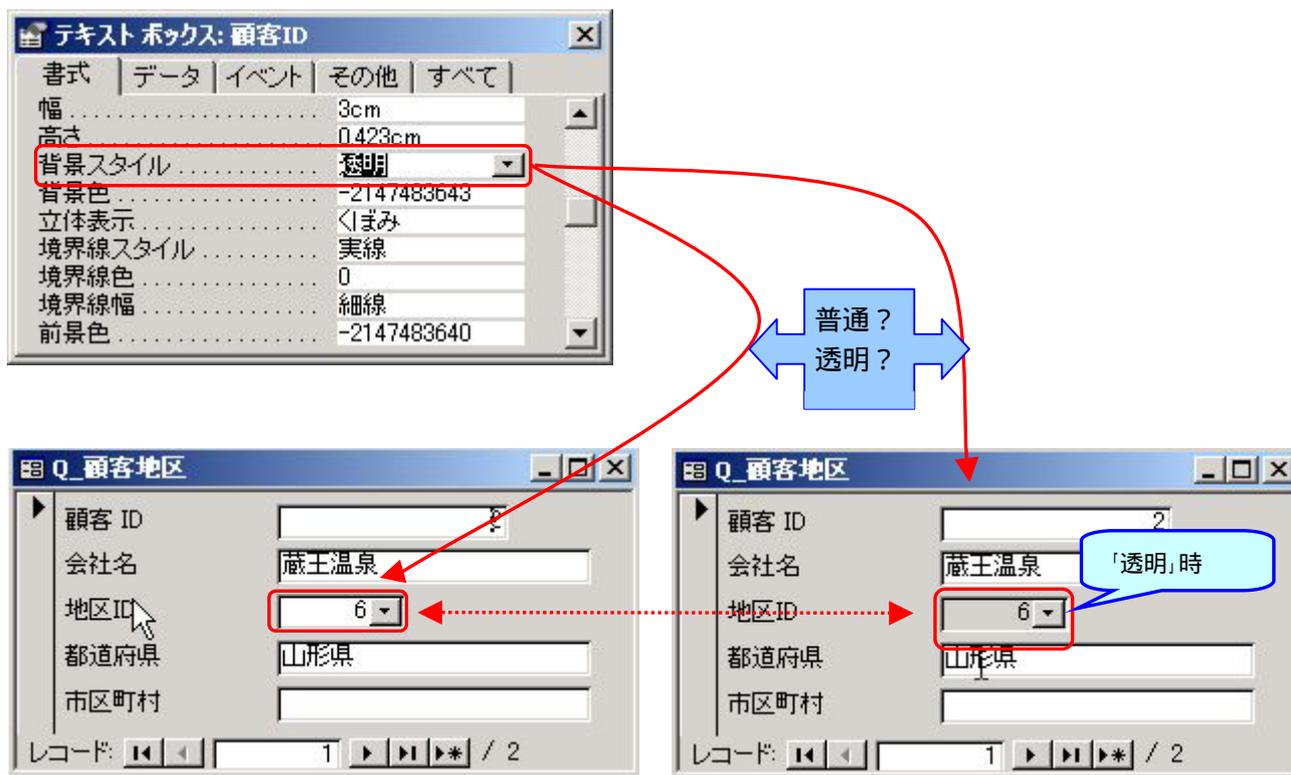
コンボボックス・リストボックスの「列見出し」



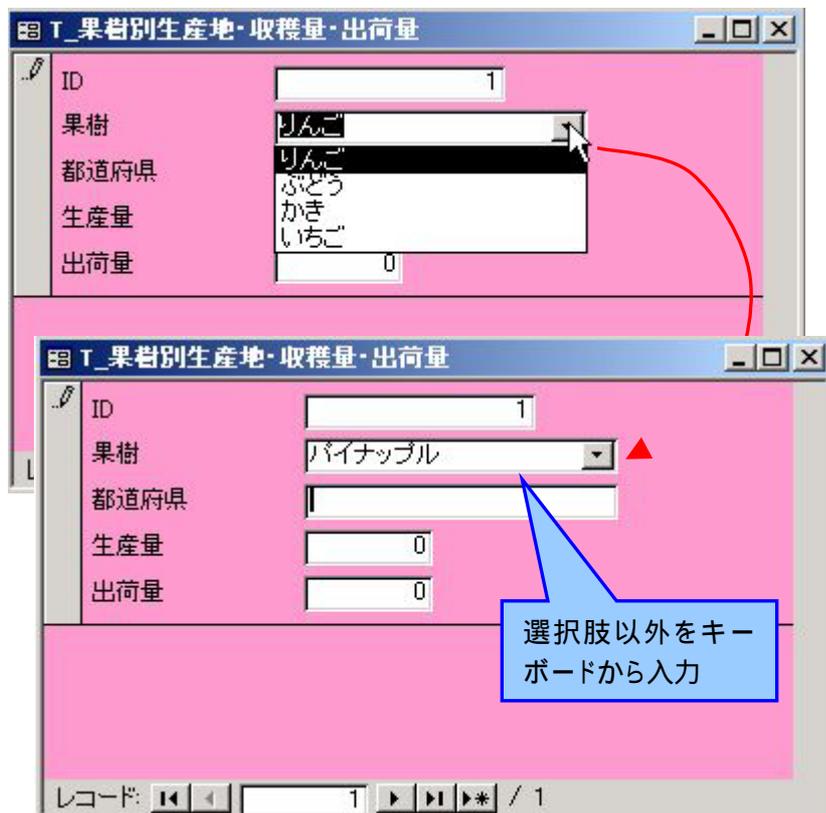
コンボボックス・リストボックスの「可視」、「表示対象」



コンボボックスの「背景スタイル」



コンボボックスの「入力チェック」



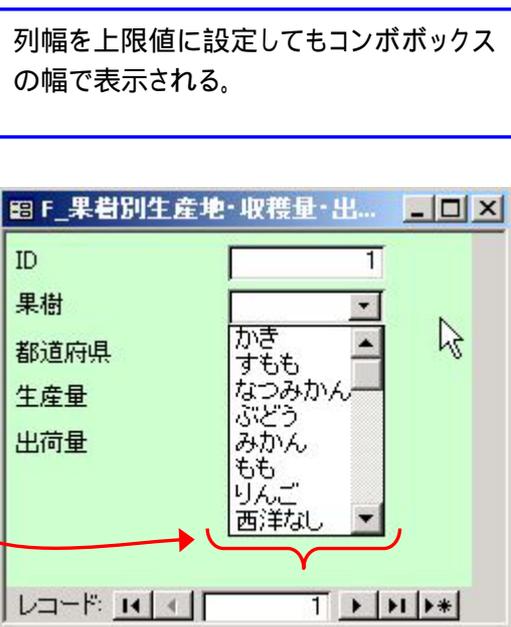
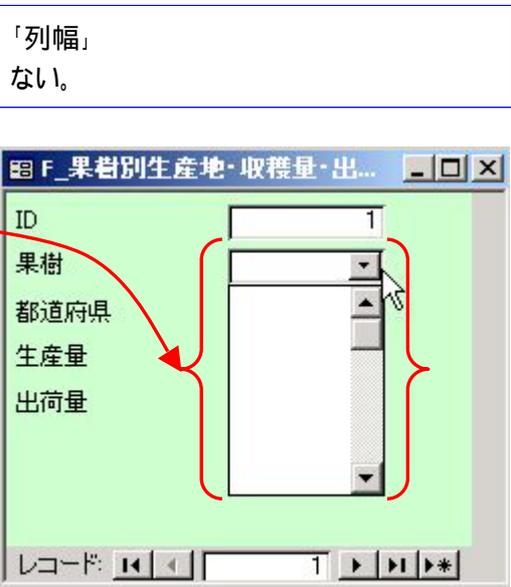
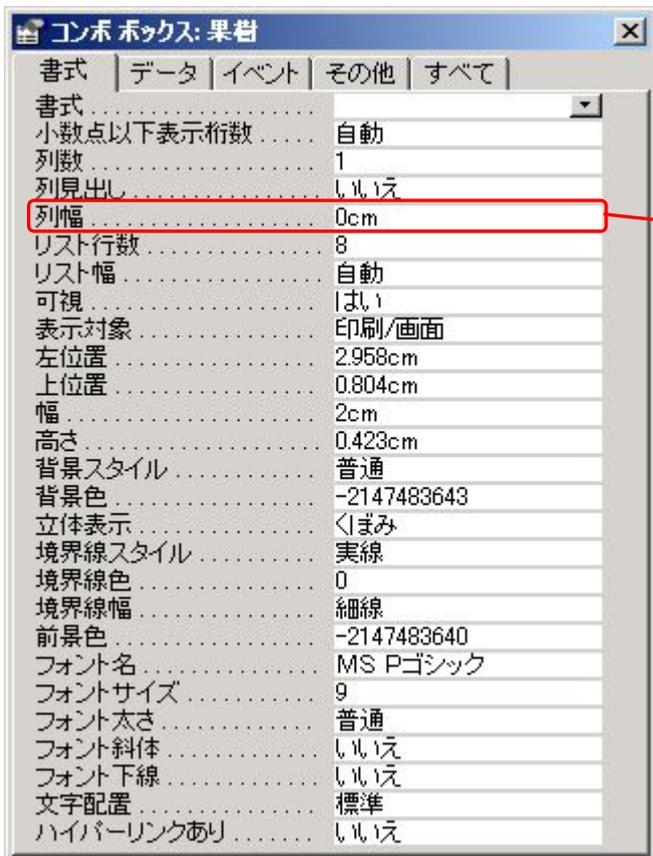
リストにないデータをキーボードから入力を受け付けるか否か。
「いいえ」設定時、キーボードからの入力が可。ただし、テーブル等のリストに反映されません。反映させるためには「イベント」プロパティの「リスト外入力時」で設定が必要です。

コンボボックス(リストボックス)の列幅

既定値は 1 インチ (2.54cm.)。下限は 0 上限は 22 インチ (55.87cm)

列幅が空白時はコンボボックスまたはリストボックスの幅が列幅の規定値になります。

1 つ以上の列を非表示するときに表示します。



コンボボックスのリスト行数

既定値は「8」。設定できる値は 1 から 255 です。



コンボボックスのリスト幅

既定値 (Auto/自動) はコンボボックスの幅がリストボックスの幅になります。

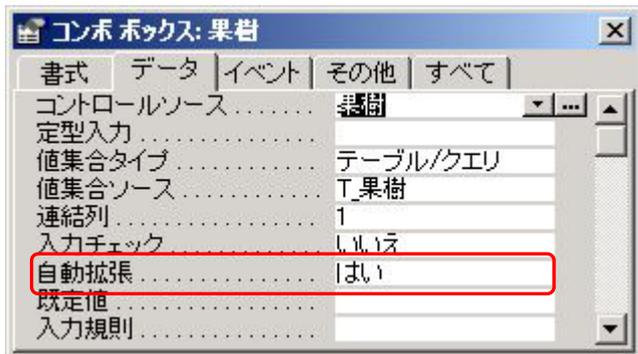
リスト幅 > (コンボボックス) 幅 リスト幅で表示

リスト幅 < (コンボボックス) 幅 コンボボックス幅



コンボボックスの「自動拡張」

コンボボックスに1つまたは複数の文字を入力すると、入力した文字と一致する値が一覧から検索され自動的に表示されます。さらに文字を続けて入力すると、表示される値も変化します。



1文字を入力して Enter



コンボボックスの「オートコレクト」



入力データが訂正され



[ツール]の[オートコレクト]で訂正する記号、文字列を定義する

